



東っ子だより

— 学校教育目標 —
**せい いっぱい きたえ
のびよう 東っ子**
自分を出し切り
笑顔いっぱいの学校に

令和7年4月7日 NO.1

「笑顔いっぱい、子どもたちの声がひびく学校に」

例年より桜の開花が遅れ気味ですが、子どもたちの学校の始まりを待っていたかのように、この学校にも確実に春が訪れています。

令和7年4月7日（月）、10名の新一年生を迎え、67名の児童でスタートしました。元気いっぱいの子どもたちと一緒に生活をスタートすることができることを教職員一同喜んでおります。本年度もどうかよろしくお願いいたします。

学校に子どもたちの声が戻ってきました。“子どもたちの笑顔”のあたたかさと、“子どもたちの声”“がひびく学校は本当に素敵です。今年度も「地域とともに歩む学校」を大切に、教育活動を進めてまいります。

さて、東白川小学校の校長室には「大きな古時計」があり、時を刻んでいます。この時計は、昭和3年5月に中国山東省の動乱のために徴兵された11名の方全員が、翌4年3月に無事東白川に帰郷されたことを記念して越原小学校に寄贈されたものです。後に、学校は統合され、現在は東白川小学校にあります。長い間、壊れたままで動いていなかった時期もあるようですが、現在は、「カチ、カチ、カチ」とあたたかい音を刻んでいます。この古時計は、今年で97年目を迎えます。今後もこの地域で時を刻み、この地域の多くの子どもたちと出会うことでしょう。この時計が一つ一つ刻む音は、子どもたちの心にもひびくものがあると思います。「時（いのち）を大切にする心」を伝えていきます。



私たち教師は、常に次の3つことを念頭に置いて子どもの指導に当たっていきます。

- ・子どもたちが活躍できる時間と場を確保します
- ・力がつくよう確実に見届けを行います
- ・一人一人に寄り添い、認め励ましをします

始業式では、子どもたちに「今日一日が楽しく、明日もまた来たくなる学校」となるよう2つの約束をしました。

- ① 頑張る皆さんを全力で応援します！
- ② 一人一人の声に真剣に向き合います！

最後になりますが、「せい いっぱい きたえ のびよう 東っ子」を学校教育目標として、本年度も学校教育を進めてまいります。地域の方々、PTAの皆様の支援をいただきながら、学校・保護者・地域が一体となって健やかな子どもたちの成長に向けて一緒に取り組んでいくこととなります。どうぞ、本年度も、本校の教育活動に、御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

校長 渡邊 克年